

# いきいき かぐらざか

JCHO東京新宿メディカルセンター がん診療情報誌



〈れんげ草〉

れんげ草には「心が和らぐ、苦しみを和らげる」という花言葉があります。「みなさんが自分らしく過ごせるように」という意味をこめて情報誌を作成しております。

JCHO東京新宿メディカルセンター がん診療委員会

## 乳腺外来からご挨拶

外科 叶 典子

本年4月より外科に着任いたしました叶と申します。がん研究会有明病院乳腺センターで研修し、前任の増田幸蔵部長から乳腺外科を引き継がせていただきました。現在週2回乳腺専門外来を行っております。

当外来では乳房やわきのリンパ節などを診察させていただいております。

よくある症状としては胸のしこり、痛み、違和感、ひきつれ、赤み、乳首のただれ、乳首からの分泌物、わきのしこりがあります。

受診された場合は、問診・触診後、マンモグラフィ（乳房を圧迫してレントゲン写真を撮ります）や乳房超音波検査を行い実際に症状の原因となるところがあるかどうかを探します。怪しいところがあれば細胞診や組織診(CNB: Core needle biopsy, VAB: Vacuum assisted biopsy)といった針を刺して細胞や組織を取る検査を行い、顕微鏡で調べて診断をつけます。良性であれば経過観察となり様子をみます。悪性であればさらに検査を進めていきます。

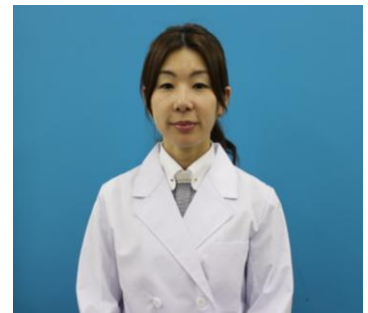
症状がなくても健診や人間ドックの乳がん検診で要精密検査となった方に対しても同様の方法で二次検査を行っています。

もし悪性と判断され乳癌が見つかった場合は、治療が必要になります。当院には外科（検査手術・薬物療法担当）、形成外科（乳房再建担当）、放射線科（放射線治療担当）、病理科（生検や手術後の診断担当）、リハビリ科（手術後のリハビリ担当）といった治療に必要な科が全てそろっていますので、同一施設で一貫して治療を行うことができます。

また、検査や診療などを行うスタッフには女性がおりますので安心して診療を受けていただけたと思います。

当院には健診センターも併設されておりますので、人間ドックの乳がん検診や新宿区の乳がん検診も受検いただけます。

日本人の乳がんは年々増加しています。乳がんの早期発見のため、症状のない方は乳がん検診を、症状のある方は病院受診をお勧めします。当院健診センターまたは外科外来にお気軽にご相談ください。



## 放射線治療科が発足しました

放射線治療科部長 黒崎 弘正

放射線治療は放射線科の一部として旧・東京厚生年金病院時代の昭和 37 年にコバルト 60 が導入されたことからはじまりますが、このたび放射線腫瘍医 2 名・医学物理士 1 名で 4 月より放射線治療科が発足しました。

近年、がん拠点病院では放射線治療科と診断科が分かれていないところはほとんどなく、がん診療体制として今まで組織上も整備が遅れてしまったところがありますが、そのぶん JCHO 東京新宿メディカルセンター改名後、最初の新設科として診療体制を充実させていくことがすでに決まっております。そのいくつかをご紹介しますと思います。

### ① 放射線治療科病棟が始まりました

4 月 1 日より放射線治療科として病棟を 7B 病棟（2 ベッド）に開設しました。新宿区には 6 つの放射線治療医療機関（3 つの大学病院・大久保病院・国立国際医療センター）がありますが、どの医療機関も放射線治療科で病棟をもっていません。また、JCHO 病院は日本全国に 57 病院（うち放射線治療ができるのは 13 病院）ありますが、放射線治療科で病棟があるのは我が東京新宿メディカルセンターだけです。

病棟があることによって、外来で毎日通ってくるのが困難な患者さまでも対応することができるようになります。

### ② 内用療法をさらに充実させます

放射線治療には通常使われている外から放射線を当てるものと、放射性物質（アイソトープ）を体に取り込ませる内用療法の 2 つがありますが、今までは当院では骨転移に対するメタストロン（ストロンチウム 89）だけを行なっておりました。メタストロンの施行件数は都内でも有数であり、昨年・一昨年と東京医大について第 2 位となっております。

さらにこれを充実させるべく癌ではありませんが甲状腺機能亢進症に対するヨード治療がすでに開始され、近々リンパ腫に対するイットリウム治療が出来る見込みになっております。

### ③ トモセラピーが本年度に導入されることになりました

長らく建物の構造上の問題もあり、高度な放射線治療ができず、東京都がん診療拠点病院として恥ずかしい放射線治療体制でしたが、来年春にトモセラピーが導入されることに決定しました。都内では江戸川病院、駒込病院、東大について 4 番目の導入施設になりますが、その分より最新鋭の Tomo-HDA システムが導入されます。

トモセラピーの導入で前立腺癌や頭頸部腫瘍をはじめ多くの癌に「より癌に厳しく、より体に優しい放射線治療」が行なえることとなります。6 月頃から本館地下 2 階で様々な工事が行なわれ、騒音・振動などあるかもしれませんが、より癌に厳しく、体に優しい治療を行なうための工事ですので何卒ご了承ください。



## 第7回がん患者サロン『がん化学療法について』を開催して

薬剤部 吉井 雅美

近年、がん治療は日々進歩しています。がん治療の3本柱といわれている①手術②放射線療法③抗がん剤治療において、がんの進行や部位、大きさなどにより治療の選択は広がっています。その中で抗がん剤治療は新薬の発売、適応の追加などで次々と治療の幅と選択肢が広がると同時に治療成績も年々向上しています。以前は殺細胞性抗がん剤といってがん細胞を死滅させる薬のみでした。残念ながらこの系統の薬は全身に薬が行き渡るので正常な細胞までも死滅してしまい副作用が強く現れてしまいます。最近では分子標的薬といってターゲットのがん細胞を狙い撃ちにする薬があります。これらの薬を単独または他の抗がん剤と併用して治療したりすることによって成績が以前より良くなっています。抗がん剤治療を行う目的は①治癒②切除（縮小）③再発防止④延命⑤症状緩和など様々ですが、具合が悪い時間を少しでも減らして元気に日常生活に戻ることが最大の目的としています。抗がん剤が効いてくれれば仕事にも復帰できる、旅行も行ける、趣味も楽しめる、大切な家族との時間も沢山作れます。

しかし、ここで問題が1つあります。それは副作用の発現です。抗がん剤がどんなに効果があっても副作用によってつらい日々を送ることになってしまえば意味がなくなってしまいます。副作用によってなかなか退院できない、食事を食べることができない、倦怠感が強くて一日中家で寝ている、これでは抗がん剤治療をしても意味がなくなってしまいます。それなら、抗がん剤治療なんかやめて残された時間を大切に過ごした方がいいと思ってしまいます。抗がん剤治療において大切なことは効果があることが一番ですが同じくらい大切なことは継続して治療を続けるために副作用のコントロールをしていくことです。最近では、抗がん剤のみならず副作用を緩和する薬も増えてきています。そのためには、治療開始に先立って、医師、薬剤師から十分な説明を受けて、理解していただき、副作用の早期発見、早期対応が重要になってきます。体に変化があれば、すぐに医師や看護師、薬剤師などに相談することが大切です。

本館2階には「外来化学療法室」があります。いつでもご相談にお立ち寄りください。



<次回サロンの予定>

「がん患者の心の持ち方

～一緒に歌ってリフレッシュ!～」

日時：平成27年10月7日（水）14:00～15:30

会場：当院 本館地下2階 第1会議室

参加をご希望の方は、がん相談支援センターで  
ご予約ください。

（本館1階 地域連携・総合相談センター内）



## セカンドオピニオンについて

他の医療機関に受診中で、診断や治療方針について他の医師の意見もお求めになりたい方に対して、セカンドオピニオンを行っております。がん相談支援センター又は各科外来（受付時間：平日14時～16時）までお問い合わせください。30分から1時間を予定しております。健康保険は使えませんので1件あたり21,600円の費用がかかります。病理診断医による診断が行われる場合別途8,100円を徴収させていただきます。

また、当院受診中の方で、他医療機関のセカンドオピニオンをご希望される場合は各科受付又は主治医にお申し出下さい。

## がん相談のご案内

「緩和ケアについて知りたい」「介護や看護の方法で悩んでいる」など、がんに関わる様々な問題、心配ごとについてのご相談に応じています。お気軽にご相談ください。

受付時間：月～金（祝日を除く） 8：30～17：00

担当：がん相談支援センター（地域連携・総合相談センター内）ソーシャルワーカー

連絡先：TEL 03-3269-8137(直通) msw@tkn-hosp.gr.jp

## JCHO東京新宿メディカルセンターのご案内

〒162-8543 東京都新宿区津久戸町5-1

JCHO東京新宿メディカルセンター

TEL 03-3269-8111 (代)



### 【診療科】36診療科

整形外科／脊椎病科／脊椎脊髄外科／形成外科／リハビリテーション科／リウマチ科／外科／呼吸器外科／消化器外科／乳腺外科／脳神経外科／脳神経血管内治療科／内科／消化器内科／循環器内科／呼吸器内科／腎臓内科／糖尿病内分泌内科／血液内科／神経内科／緩和ケア内科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／小児科／精神科／放射線科／放射線診断科／放射線治療科／歯科／歯科口腔外科／麻酔科／病理診断科／救急科



□ JR総武線（中央線各駅停車）  
飯田橋駅東口 徒歩5分

□ 東京メトロ 東西線・有楽町線・南北線  
飯田橋駅（B1出口） 徒歩4分

□ 都営大江戸線  
飯田橋駅（C1出口） 徒歩3分

\* 当院に一番近い地下鉄出口「C1」は、都営大江戸線利用の場合のみ便利です。  
地下鉄で車椅子等でお越しの方は、南武線後楽園駅寄りの改札前にある「地上行きエレベーター」をご利用ください。

#### □ バス

- ・都営飯田橋駅前—小滝橋車庫（飯62）昼間だけの運行です。厚生年金病院前 下車すぐ
- ・小滝橋車庫前—九段下（飯64）飯田橋 下車 徒歩5分